



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 187

令和5年(2023)
11月9日

主 な 内 容	第3回臨時会のあらし	2
	9月定例会のあらし	2
	常任委員会の審査報告	3
	各会派討論の内容	5
	議案の採決結果	8
	代表質問	10
	一般質問	12
	意見書・決議	18
	議長から市長へ提言	20
	12月定例会の予定	20
	編集後記	20

- 議長から市長へ提言
～「市民と議会のわがまちトーク」から、議員の議論を経て～
- 令和4年度一般会計決算を認定
- 令和5年度一般会計補正予算を可決
- 「副市長の選任について」を同意
- 「令和5年台風7号に係る災害対策に関する意見書」
および「建設アスベスト被害者の救済とアスベスト
対策の拡充を求める意見書」を可決
- 「舞鶴市における防衛体制の維持と防衛産業基盤の
強化に関する決議」を可決

議会だよりはこのコードから
ご覧いただけます。



秋のみのり



第3回臨時会のあらまし（令和5年8月23日開催）

- 台風7号で床上浸水等の被害に遭った住家において生活していた世帯に対し、見舞金（半壊：5万円、床上浸水：3万円）を支給する、災害見舞金100万円の令和5年度一般会計補正予算（第4号）を可決

9月定例会のあらまし

- 「ビヨンド・コロナ社会」の実現に向けた事業や、第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画の最終年として移住・定住施策の推進、子育て環境日本一に向けた子どもの豊かな育ちを支える環境づくりなど、数々の事業に取り組んだ「令和4年度一般会計決算」を認定
- 高プレミアム率のクーポン券を発行する「まいづる冬グルメキャンペーン事業費補助金」、物価高騰に直面している事業者等への負担軽減を図る「経営改善支援事業費補助金」および「飼料価格高騰対策緊急支援事業費」のほか、「公立保育所施設整備基本計画策定経費」、東消防署中出張所の廃止に伴い、併設している中分団車庫整備のための用地を取得する「消防施設整備事業費」、小学校のエレベーターを整備する「校舎等改修事業費」など、5億9,820万円の令和5年度一般会計補正予算（第5号）を可決
- 台風7号に伴う土砂崩れや浸水などにより被害に遭われた市民の皆さまの生活再建や農林業者、中小企業等の事業再建支援のほか、被災した道路、橋りょうや河川、公共施設の社会基盤の復旧など、4億4,957万円の令和5年度一般会計補正予算（第6号）を可決
- 第79号議案「副市長の選任について」は同意、第80号議案「舞鶴市副市長の給料の特例に関する条例制定について」を否決
- 綾部市とはしご自動車の共同運用に係る事務を連携して処理するため、舞鶴市及び綾部市におけるはしご自動車の共同運用に係る連携協約についてを可決

令和5年舞鶴市議会9月定例会は、9月4日から10月5日までの32日間開催されました。9月定例会に市長から提案された議案は、令和4年度決算9件、令和5年度一般会計補正予算7件、条例6件、その他4件を合わせて26議案を審議した結果、25件を原案どおり認定・可決・同意、1件を否決しました。また、議会提案の「令和5年台風7号に係る災害対策に関する意見書」「建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の拡充を求める意見書」「舞鶴市における防衛体制の維持と防衛産業基盤の強化に関する決議」3件を可決し、審議した請願1件を不採択としました。



本会議において付託された議案は、市民文教委員会1件、産業建設委員会3件、総務消防委員会5件、予算決算委員会16件であり、それぞれの委員会で審査しました。

常任委員会の審査報告

予算決算委員会の主な審査内容

令和5年度一般会計
補正予算(第5号)

消防施設整備事業費

Q 中分団の車庫の用地を公費で取得することについて、他の分団とのバランスや、今後との分団の再編等も含めた考え方は

A 人口減少に伴って消防団員数も減少していくことが想定される中、再編という観点も出てくると思われることから、団員の皆さまとの対話を通じて、消防団による安全・安心の確保に努めたい。

校舎等改修事業費(小学校費)

Q 学校へのエレベーターの設置状況は

A 設置済みの学校は白糸中学校で、倉梯小学校は長寿命化工事と併せ整備を進めている。今回の補正予算で対応するのは、明倫小学校への整備である。

Q エレベーターの運用方法は

A 学校の状況を踏まえ、具体的な運用方法を検討する。

令和5年度一般会計
補正予算(第6号)

林業施設の早期復旧支援

Q 林業施設と林道の具体的な範囲について、農道等は対象に含むのか

A 林業施設の区分として、基本的には、舞鶴市の林道台帳に記載のある市管理又は地元森林組合管理の林道に対して支援を行う。

また、農道については、「農地・農業用施設の早期復旧支援」の対象としている。

令和4年度一般会計
決算の認定

庁舎管理経費

Q 光熱水費や燃料費が前年度に比べて大きく増加している理由は

A 光熱水費については、電力契約が低価格で販売していた事業者の撤退に伴って変更となったことによるもので、燃料費については、

燃料の高騰によるもの。多世代交流による地域づくり推進事業費

Q 現役世代の利用が極端に少ないが、その対策は

A 全国的な課題であり、アンケート調査に基づき、ボクシングやプラモデル講座等を実施しているが、情報が届いていない、参加したい講座がない等の意見があり、今後、事業の内容など検討する。

移住・定住促進総合戦略事業費

Q 予算額に対して決算額が少ないが、予定していた取り組みは実施できたのか

A 都市部での移住相談会には10回参加した



が、荷物運搬等の効率性の面から公用車を使用し、交通費が少なかったことや、一部で京都府等の主催により参加負担金が安価あるいは不要であったことなどが要因。当初予定していた取組は実施できた。

社会福祉総務費

Q 生活支援相談課が新たに設けられたが、その効果は

A 令和4年4月からあらゆる相談に一元的な窓口として生活支援相談課を設置。専門的な相談員が連携しながら、あらゆる相談を受けている。各相談員が他の専門的な事業についても徐々に把握してきており、より効果的な相談支援ができていく。

DV相談支援事業費

Q 女性のための相談室を設置しての総評は

A 女性のための相談室という名称を掲げたことで、これまでどこに相談すればよいのか分からなかった市民の

方からの相談を受けることができ、効果があつたと認識している。

保育士就労奨励事業費

Q 保育士の確保に係る効果は

A 就職奨励金で15人、転入奨励金で9人、復職奨励金で3人となり、保育士の確保に一定の効果はあるものと認識しているが、依然として保育士不足の状況にあるため、引き続き保育士確保対策に努める。

公立保育所の入園状況

Q 定員割れの理由は

A 少子化によるものである。これ以上受け入れる場合は、公立保育所も余裕を持って保育士を確保している状況ではないため、保育士の確保が必要となる。

定員の検討は

A 中保育所は、新築移転の中で検討する。うみべの保育所は、市全体の定員を検討する中で必要に応じ検討する。

Q 入所待ちの児童は待機児童は0人で

ある。特定の保育所への入所希望などによる待機は48人である。

Q 医療的ケア児の入所実績は

A うみべの保育所に1人である。

「地域医療の充実」共同研究事業費

Q 研究の進捗状況や今後の考えは

A 今年度で5年目を迎える事業。周産期サブセンターの役割を担う舞鶴医療センターにおいては、常勤医師1人、非常勤医師1人による常時2人の産科体制をとっていただいている。コロナ禍で出産そのものの件数が減少傾向にある中、舞鶴医療センターの分娩件数は増加傾向にあり、この実績を踏まえ、今後にも充実に努めていく。

舞鶴地域麻酔診療支援センター運営経費

Q 麻酔診療支援センターの本格稼働はまだか。現在の状況は

A 本格稼働には至っていないが、舞鶴医療センターに麻酔科医3

本会議において付託された議案は、市民文教委員会1件、産業建設委員会3件、総務消防委員会5件、予算決算委員会16件であり、それぞれの委員会で審査しました。

常任委員会の審査報告 FMまいづるに出演紹介

人が配置され、診療いただいた。3人で全ての診療が賄えるわけではないため、医師の数をもう少し増やしていきたいと考えている。現在空席となつている麻酔科の教授着任後、協議を重ね、しかるべき体制に向けて進めていきたい。

農業委員会情報収集等業務効率化支援事業費

Q 農業委員会等へ配付したタブレット端末活用の効果は

A 毎月開催している農業委員会総会の資料をデータ化することで、資料を画面で確認していただいている。現在は紙資料との併用であるが、将来は紙資料をなくし、会議の資料をペーパーレス化し開催したい。

また、今後、タブレット端末を活用して現場で農地地図が確認できるようにする予定。

未来にはばたけ、頑張る事業者応援プロジェクト事業費

Q ビーチハウス神崎

くるま旅パークへの支援内容は

A くるま旅を推進することを目的とし、神崎地区においてオートキャンプ場を整備するため、シャワーやトイレ等の整備に対して支援を行った。

まちづくり推進事業費

Q 伝統的建造物保全事業における吉原地区の調査の進捗状況と今後の予定は

A 令和4年度に報告書の一部を作成しており、令和5年度に全て完成する予定。

河川情報等管理経費

Q 気象会社からの気象・台風情報の提供は、具体的にどのようなものか

A 民間気象会社と契約しており、気象の状況や災害発生リスクなどの情報提供を受け、市の避難情報発令等の判断材料の一つとしている。

常任委員会の 主な審査内容

産業建設委員会

工事請負契約について
(西舞鶴駅西口駅前広場整備工事)

西舞鶴駅前の利便性向上と総合的な機能改善・強化を目的に整備を行うもの。

Q 入札方法を総合評価方式とした理由は

A 安全管理・現場管理・品質管理に関して施工計画に関する提案を求めることで、工事全体の品質向上が期待できることから、総合評価方式を採用した。

手数料条例の一部を改正する条例制定

本市が実施した地籍調査の結果について、広く一般の利便に資することを目的として一般の閲覧に供する必要があることから、地籍調査の結果に関する証明を行うこととする。ことに伴い、手数料を徴収する事務および金額に、当該証明に係る手数料を追加するもの。

総務消防委員会

舞鶴市及び綾部市におけるはしご自動車の共同運用に係る連携協約

はしご自動車の共同運用に係る事務を綾部市と連携して処理するため、連携協約を締結するもの。

Q 綾部市にとってのメリットは

A 出動が想定される大規模工場が舞鶴寄りに多いことや、中高層の建物が市街地に集中していることから、舞鶴から短時間での活動開始が可能である。

舞鶴市副市長の給料の特例に関する条例制定

副市長の給料月額を、条例で定める額に100分の20を乗じて得た額とするもの。

Q 減額の割合は、なぜ2割なのか

A 市長および部長級の職責や給料と比較し、市長の給料を下回りつつ、部長級を上回る水準として、2割の減額とした。

FMまいづるに 出演しています

舞鶴市議会では、毎月1回、FMまいづるの「ななこちゃったラジオ」に議員が出演しています。

定例会の報告や市議会の進めている取り組みなど、議会に関するいろいろなことをお話しています。



過去の放送内容もお聴きいただけます。



今後の
放送予定

11月24日(金)

放送テーマ:「常任委員会の総括」

これまでの
主な放送テーマ

- 「定例会の案内、議案紹介、審査報告」
- 「常任委員会視察報告」
- 「本会議や委員会の傍聴について」
- 「審議の見える化を図る取組」
- 「市民と議会のわがまちトーク」
- 「第20期の総括」「議長就任挨拶」「防災訓練」
- 「議会学習会」「議会改革の取組」「舞鶴市総合計画」 など

次回の放送予定やこれまでの放送内容について詳しくは、ホームページからご覧いただけます。



討論
優先されるべきは
住民福祉の増進

日本共産党議員団

21議案に賛成し、4議案に反対する。

地方自治体の役割は「住民福祉の増進を図る」ことが基本であることから、令和4年度一般会計決算認定については以下の点で認定できない。①赤れんが周辺整備事業は、10年間で30億円の事業であり、今後、資材高騰などを考えると事業費の膨らみは想像もつかない。現在のコロナ禍、物価高騰の中では少なくとも凍結すべきである。②整備新幹線誘致推進費は、計画がなく、山陰新幹線誘致のためのものである。特急が減便され、みどりの窓口も廃止される中「不便になった」との

市民の声を聞く。新幹線誘致より、在来線を充実すべきである。③子育て支援医療助成事業は、京都府が9月診療分から拡充しており、これを受け、多くの自治体が9月診療分から拡充している。本市は来年1月から。令和4年度に京都府の動きを知りながら、準備をしなかったことに、本気度が問われる。④市内統一の学力テストは中止すべきである。不登校児童の出現率が高い本市は、学力中心のテストが子どもにとって窮屈で、魅力のない学校になっていくことも、不登校の要因と考えられる。

国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険のそれぞれの事業会計決算の認定については、市民生活や高齢者の厳しい生活実態に心寄せ、保険料の引き下げこそ必要である。保険料引き下げを求め、認定できない。

構想段階で市民参加不可欠
工事請負契約について（西舞鶴駅西口駅前広場整備工事）では、整備に関わる工事説明会が開催された。車両区分の根本的な見直しは、利用者との合意形成が必要であるにもかかわらず、市民への説明や意見聴取が非常に不十分である。これでは、せっかくの事業も市民的な理解と協力は得られないということをしし添え、賛成する。



整備事業が計画されている西舞鶴駅西口駅前広場

討論
歳入予算に対する
執行率は、94.5%

新政クラブ議員団

24議案に賛成し、1議案に反対する。

令和4年度一般会計決算の認定について、歳入では、償却資産の減少等による固定資産税の落ち込みなどにより市税が減少したほか、ふるさと応援寄附金が1億3617万円、臨時財政対策債の発行抑制、普通交付税の増加により、歳入総額392億5750万円で、歳入予算に対する執行率は94.5%となった。歳出では、ワクチン接種事業の継続に加え、原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰緊急対策事業、京都府中・北部地域消防指令センター整備事業、校務系ネットワーク整備

事業を実施した。また、第7次総合計画・前期実行計画の最終年として、移住・定住の促進、子育て環境日本一に向けた子どもの豊かな育ちを支える環境づくりなど、数々の事業に取り組み、歳出総額は382億637万円となった。今後も重点的、集中的に取り組みられることを求め、認定する。

令和5年度舞鶴市一般会計補正予算（第5号）は、まいづる冬グールメキャンペーン事業費補助金、経営改善支援事業費補助金および飼料価格高騰対策緊急支援事業費等が計上されており、補正額は、歳入歳出いずれも5億9820万円となり、賛成する。

令和5年度一般会計補正予算（第6号）の補正額は、歳入歳出いずれも4億4957万円となり、予算総額は395億6141万円となる。台風7号に伴う所要経費であり一日も早い全面復興を願い、必要な予算として賛成する。

副市長の給料の特例に関する条例制定については、審議不足として反対する。



台風7号の被災現場

令和5年10月5日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

討論
厳しい財政の中、一定評価する

自民党鶴政クラブ議員団

24議案に賛成し、1議案に反対する

利益の処分については、人口減少に伴い給水人口が減少する一方、法定耐用年数40年を経過した経年管が147キロメートルとなる。経営環境が大変厳しい中、純利益1億7165万円を評価し、賛成する。

令和5年度一般会計補正予算(第5号)は、西駅交流センター施設整備事業費、老朽化が著しい中保育所の施設整備に向けた公立保育所施設整備基本計画策定経費、価格高騰で経営状況が厳しい農業者等の経営体質強化につ

ながる農業・畜産業・水産業経営改善支援事業費補助金など、いずれも適切に必要な補正であり、賛成する。

令和5年度一般会計補正予算(第6号)は、台風7号で被災された方々の生活再建支援、生活環境の保全、農

令和4年度水道事業会計の決算の認定及び

一日も早い復旧、復興を



一日も早い復旧、復興を

地、農業用施設の復旧支援等で、一日も早く元の生活を取り戻せることを願い、賛成する。副市長の給料の特例に関する条例制定について、副市長の給与と割減額の提案に反対する。副市長の給与は、職責、労務の対価として舞鶴市特別職報酬等審議会で検討され「適当である」と答申が出されている。副市長に

24議案に賛成し、1議案に反対する

討論
物価高騰対策を最優先に

公明党議員団

24議案に賛成し、1議案に反対する

令和5年度一般会計補正予算(第5号)では、プレミアムクーポン券を発行し、物価高騰の影響を受けた生活者の支援と消費拡大を進め、また、国際的な情勢不安や円安の進行などで、生産資材やエネルギー価格高騰で苦慮している事業者等への支援であり評価する。教育費では、明倫小学校にエレベーターを整備し、階段乗降に支障がある児童等の移動手段を確保するもので、早期の整備を求め、賛成する。

令和4年度一般会計決算の認定については、歳入歳出差引額が10億

5112万円となり、翌年度への繰越財源3億9768万円を差し引いた実質収支額は6億5344万円の赤字となった。歳入は、市たばこ税や入湯税が増となる一方、固定資産償却減が要因となり、市税収入が減少した。ふるさと応援寄附金は約1億円増加したほか、市債や収入未済額を縮減し、債権管理と歳入の確保に努められた。歳出では、大型事業やコロナ対策事業の減少等により総務費、民生費、衛生費が減少する中、私立認定こども園移行改修費支援事業や校務系ネットワーク整備事業に取り組まれた。新型コロナウイルスの影響が長期化する中、感染防止対策、原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰に

直面した産業や

市民支援を評価し、賛成する。令和5年度一般会計補正予算(第6号)は、台風7号により被災された市民や農業者支援で、国・府の補助事業の対象とならない小規模治山工事への補助や復旧支援事業等、早期復旧を求め、賛成する。副市長の給料の特例に関する条例制定については、特別職報酬等の額は、報酬等審議会が職責と労務に応じて答申した金額であり、大変重要と判断し、反対する。



一次産業を支援

令和5年10月5日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

討論

舞鶴市議会の情報発信～YouTubeとFacebook～・議会傍聴

討論
物価高騰対策を
評価する

市民クラブ舞鶴議員団

全議案に賛成する。

令和4年度一般会計決算の認定について、歳入では、市税収入が納税義務者の減少等で減額となったが、ふさと納税寄附金の増加等で歳入総額392億5750万2千円を確保した。歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種事業を実施するとともに、感染症の影響と物価高騰が重なり、市民生活を直撃する中で、市民や事業者への緊急対策支援や「ビヨンド・コロナ社会」の実現に向けた事業、子育て環境の改善などにも取り組んだ結果、歳出総額382億637万円となった。

令和5年度一般会計補正予算(第5号)では、まいづる冬グルメキャンペーン事業費として物価高騰が続く中、高プレミアム率のクーポン券を発行し、本市の魚を味わう機会を設けることで、本市の地場産業の活性化に資するものと考えられる。教育費では、バリアフリー法の改正に伴い、西地区の拠点校として明倫小学校に新たにエレベーター設置をする。障害者を持たれているお子さんや保護者の方が、授業や参観日等で校内の移動が容易となり、負担軽減につながる。安全かつ安心して学校生活を送れることから賛成する。



台風7号災害で被害を受けた加佐地区

令和5年度一般会計補正予算(第6号)では、補正額4億4957万円で、8月の台風7号により、被害を受けた方への災害復興に必要な事業費であり、賛成する。早期の減災対策も含め、復興に携わっていただいた方に敬意を表し、被災された皆さまがいち早く元の生活に戻れるのを心から願っている。

80号議案に賛成する

舞鶴市副市長の給料の特例に関する条例制定について、当会派では、先の定例会から一貫して特別職報酬等審議会でも諮問の必要がないと確認している。希望ある舞鶴を目指すには必要であると考えことから、賛成する。

舞鶴市議会の情報発信

～ YouTube と Facebook ～

舞鶴市議会では、議会の「見える化」を図る方法の1つとして、「舞鶴市議会公式YouTubeチャンネル」を開設しています。

本会議や委員会のライブ配信・録画配信に加えて、定例会の概要報告や委員会の活動報告など、舞鶴市議会がどのような活動をしているかをご理解いただくための動画を配信していますので、是非ご覧ください。

また、「公式Facebook」では、議会の活動内容を随時発信していますので、是非ご覧ください。チャンネル登録や「いいね」もお願いします。



議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会等はどなたでも傍聴することができます。

手話通訳者・要約筆記者を配置できます

詳しいお問い合わせは市議会事務局へ ☎66-1060

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴される場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはFAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承の上、お早めにご相談ください。



詳しくはホームページをご覧ください。

あらまし
委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

意見書・決議

提言

定例会の予定

議会PR

令和5年9月定例会での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。



全会一致で可決した条例議案

- 舞鶴市市史編さん委員会条例制定について
- 災害派遣手当等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市火災予防条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

全会一致で可決したその他の議案

- 工事請負契約について（西舞鶴駅西口駅前広場整備工事）
- 市道路線の認定について
- 舞鶴市及び綾部市におけるはしご自動車の共同運用に係る連携協約について

全会一致で同意した人事議案

- 副市長の選任について

【議決結果】可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択

【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

川口孝文	肝付隆治	谷川眞司	水嶋一明	南正弘	今西克己	田畑篤子	野瀬貴則	眞下隆史	眞下弘明	山本治兵衛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	西村正之	廣瀬昇	福本明日香	高橋秀策	仲井玲子	議決をした日
鶴政	鶴政	鶴政	鶴政	鶴政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	市民	市民	市民	無党派	無党派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	10月5日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	10月5日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	10月5日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	10月5日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	10月5日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	9月19日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	10月5日

無党派…会派に所属しない議員 ☆舞鶴市議会の議員定数は25人です。

副市長の選任

令和5年10月5日の本会議で次の副市長を選任することに同意しました。

新任：福田 豊明氏

議案の採決結果

(令和5年9月定例会) 会期:9月4日~10月5日

全会一致で可決、認定した予算・決算議案

- 令和5年度舞鶴市一般会計補正予算(第5号)
- 令和5年度舞鶴市一般会計補正予算(第6号)
- 令和5年度舞鶴市水道事業会計補正予算(第1号)
- 令和5年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算(第2号)
- 令和5年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算(第2号)
- 令和5年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算(第1号)
- 令和5年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算(第1号)
- 令和4年度舞鶴市水道事業会計の決算の認定及び利益の処分について
- 令和4年度舞鶴市下水道事業会計の決算の認定及び利益の処分について
- 令和4年度舞鶴市病院事業会計の決算の認定について
- 令和4年度舞鶴市貯木事業会計の決算の認定について
- 令和4年度舞鶴市駐車場事業会計の決算の認定について



全会一致で可決した議会提出議案

- 令和5年台風7号に係る災害対策に関する意見書
- 建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の拡充を求める意見書

賛否が分かれた議案

議案名		議員名等(会派内は五十音順)	出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	上野修身	尾関善之
									鶴政	鶴政
市長提出議案	令和4年度舞鶴市一般会計の決算の認定について		24	24	21	3	0	認	○	○
	令和4年度舞鶴市国民健康保険事業会計の決算の認定について		24	24	21	3	0	認	○	○
	令和4年度舞鶴市介護保険事業会計の決算の認定について		24	24	21	3	0	認	○	○
	令和4年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計の決算の認定について		24	24	21	3	0	認	○	○
	舞鶴市副市長の給料の特例に関する条例制定について		24	24	7	17	0	否	×	×
議会提出議案	舞鶴市における防衛体制の維持と防衛産業基盤の強化に関する決議		24	24	21	3	0	可	○	○
請願	患者・利用者のいのち・暮らしを支えるケア労働者の賃金改善と人員増のため診療報酬・介護報酬・障害報酬等を引き上げるよう国に求める意見書提出に関する請願		24	24	3	21	0	不	×	×

【会派】鶴政…自民党鶴政クラブ議員団、新政…新政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、市民…市民クラブ舞鶴議員団



あらまし

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

意見書・決議

提言

定例会の予定

議会PR

令和5年9月14日に本会議を開き、5人が代表質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

代表質問

令和5年 舞鶴市議会9月定例会代表質問

令和5年9月14日

順番	質問方式	会派名及び氏名	質問事項
1	一問一答	自民党鶴政クラブ議員団 尾関 善之	1 台風7号について
			2 要望書について
			3 西地区浸水について
2	一問一答	新政クラブ議員団 眞下 隆史	1 令和4年度における市政運営の評価等について
			2 市長が示す舞鶴市の目指す明確な将来ビジョンについて
			3 行財政改革の進捗状況と今後の取組について
3	一問一答	日本共産党議員団 小杉 悦子	1 台風による新たな災害に対する認識と備えについて
			2 平和産業港湾都市と国が進める戦争する国づくりについて
			3 財政運営について
4	一括	公明党議員団 松田 弘幸	1 防災・減災、安全のまちづくりについて
			2 脱炭素社会実現について
			3 物価高騰対策について
5	一括	市民クラブ舞鶴議員団 西村 正之	1 副市長人事について

※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
 ※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式
 ※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問事項以外の詳細は、ホームページに掲載しています。
 また、本会議の様子は、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページからご覧ください。

舞鶴市議会 検索



答弁 実際には
気象台の予測より

えを問う。
ない。この結果に
ついて、市長の考
えを問う。

質問 台風7号によ
る西地区浸水につい
て、新聞報道等で「大
手ポンプ場に期待を
しているが、結局防
ぐことができず残念
だ。明るい希望と思
っていたがそんなに
甘くなかった。ただ
ただ残念の一言です
。」こうした意見から
も市民の大手ポンプ
場に対する期待が高
まってきたことを伺
うことができた。こ
うした意見を踏まえ
、地元の浸水対策を
進めてきた議員とし
て今回の初動体制は
、非常に残念な結果
であり、8月14日の
初動態勢が悔やまれ
ていない。この結果
について、市長の考
えを問う。



浸水対策に期待される大手ポンプ場

も格段に早く、大雨
洪水警報の発表に続
き記録的短時間大雨
情報が発せられたた
め、高野川と大手川
の水位を監視して
いたところ、急激な
水位上昇を確認し
たので、大手ポン
プ場に出動し、15
日午前1時20分に
ポンプの運転を開始
したが、浸水したこ
とは事実。被害を
さらに軽減できるよ
うに初動態勢を検証
し、今後の災害対応
に生かしていく。

代表質問
Q 台風7号による
西地区浸水の初動態勢は
A 大手ポンプ場15日
午前1時20分に運転した

自民党鶴政クラブ議員団
尾関 善之



大事な市民意見の聴取が
期待される対話集会

質問 市長は、市民
意見・意見交換を大
事にする意向を強く
打ち出している。「市
民との対話集会」等
さまざまな場で得た
意見を、どのような
手段で市政運営に
反映されるのか、期
限を定め、いつ(P
DCA)を目指し事業
を実施されるのか問
う。

代表質問
Q 市民意見を市政に
反映する方法とは何
か
A 対話集会は審議の場
ではなく期限もない

新政クラブ議員団
眞下 隆史

答弁 医療現場にお
いてはどの立場の方
も重要な役割を果た
しておられる。まず
は関係者同士の率直
な意見交換をし、市
民意見を確認させ
ていただく機会や現
状を知っていただく
機会を検討している。

質問 持続可能な地
域医療を考える会
では、市民意見を基
に市からの提案を
されているのか。選
挙戦では非常に課
題があると苦言さ
れていたが、市民意
見を後回しにする
方向に移行された
のか。

質問 市民に現状を
知ってもらう

答 市民に現状を
知ってもらう

え、市民の皆さんに
も考えていただく場
としたいと考えてい
る。

あじまじ
委員会審査
討論
採決結果
代表質問
一般質問
意見書・決議
提言
定例会の予定
議会PR

令和5年9月14日に本会議を開き、5人が代表質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

代表質問

代表質問

Q 安全保障3文書では市民を守れない

A 防衛力の強化は舞鶴を守るもの



日本共産党議員団
小杉悦子

質問 岸田自公政権は、昨年12月に閣議決定した安全保障3文書

「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」に基づき具体化を進めている。舞鶴が攻撃されるかもしれないことを想定した総監部の地下化など、自衛隊施設の強靱化は、「平和産業港湾都市」舞鶴のまちづくりとは相いれない動きである。市長の思いはどうか。さらに、国に対して計画の中止を求めていただきたいが、いかがか。

答弁 新西消防署整備のため旧軍用地の譲与、赤れんがパークに隣接する三角地エリアなどを活用したまちづくりを進めている。自衛隊

施設の整備は国の専管事項である。国民の安全・安心を確保するために必要な防衛力強化の検討が進められているものと認識しており、国家として安全・安心性を高めるための整備と考えている。私の認識では、舞鶴を守るための整備であると考えており、国に対して中止を求める考えはない。



地下化の計画が進む海上自衛隊舞鶴地方総監部

代表質問

Q 本市独自の物価高騰対策をすべきでは

A 効果的な施策の実施を検討する



公明党議員団
松田弘幸

質問 コロナ禍や国際情勢などが起因となり、さらに円安で物価

高騰が進み、市民生活を直撃し、社会は大きく疲弊している。日本は、戦後最大級の難局とも言われる課題に直面する中で、政府はさまざまな物価高騰対策を講じている。本市でも不安を感じている市民の声を多く聞くが、市独自のさらなる支援策の考えを問う。また、国民、市民の訴えを国に届けることで物価高騰対策が延長された。国へさらなる要望をすることが重要と考えるが、市の考えを問う。

答弁 物価高騰の影響を受けた生活者支援や高圧電力契約事業者の負担軽減等

の支援を展開している。今後も地域経済の実態把握に努めながら、国や府の物価高騰対策等の動向に留意し、効果的な施策の実施を検討する。市としても、原油価格・物価高騰の改善が見通せない中、地域の実情をしっかりと把握し、全国の自治体と一体となって国に対し、財政支援をはじめ対策の充実を強く要望していく。



効果的な物価高騰対策を

代表質問

Q 副市長を配置する必要性は

A 市政の推進には大変重要で必要性は高い



市民クラブ舞鶴議員団
西村正之

質問 副市長の定数

条例では「定数を2人とする」と定めている。副市長は、本市のさまざまな課題を解決するため、国や京都府との連携を図り、施策を推進していくために重要な職責を担っている。長期間の副市長不在は、重大な事態であり、地域経済の活性化や政策推進の支障となることから、施策を推進し、市民生活の向上を図るためにも、早急に副市長について同意されるべきである。副市長を配置する必要性について、市長の考えを問う。

答弁 現在、副市長が不在であることから、やむなく

一般職である参事を任用し、大所・高所から対応している。しかし、重要な会議の出席や、国・府への要望活動など、市長の代理として、特別職である副市長にしか担えないものがある。副市長がこれらの任に当たることで、より効果的で、堅実な市政運営を推進することができるものと考えており、副市長の必要性は極めて高く、市政の推進に大変重要であると考えている。



二人三脚で市政の推進を

令和5年9月15日、19日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

令和5年 舞鶴市議会9月定例会一般質問

令和5年9月15日、19日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一括	杉島 久敏	1 不登校支援の推進について
2	一問一答	今西 克己	1 台風7号による豪雨災害と対策について
3	一括	谷川 眞司	1 東舞鶴地域の浸水対策について
4	一問一答	伊田 悦子	1 「子どもの医療費助成拡充」を早期に実施することについて
			2 小中学校のトイレの洋式化・バリアフリー化で「安心・安全な教育現場の実現」について
			3 小中学校の特別教室・体育館へのエアコン設置について
4	4 市立中保育所の新築移転について		
5	2分割	廣瀬 昇	1 舞鶴市における医療について
6	一括	高橋 秀策	2 本市東地区市街地における有害鳥獣被害について
6	一括	高橋 秀策	1 副市長の重要性について
			2 ごみ問題について
7	一問一答	小谷 繁雄	3 複式学級について
7	一問一答	小谷 繁雄	1 重層的支援体制整備事業について
8	一問一答	野瀬 貴則	2 GIGAスクール構想における利活用の推進について
8	一問一答	野瀬 貴則	1 土地の適切な管理と有効活用について
9	一問一答	川口 孝文	2 DX (デジタル変革) 推進について
9	一問一答	川口 孝文	1 児童生徒など子どもの心身の安全確保について
			2 被災ごみの収集等について
10	一問一答	小西 洋一	1 市民みんなで作る「市立中央図書館」について
			2 安全・安心の健康保険制度について
10	一問一答	小西 洋一	3 農業振興について
11	一問一答	福本明日香	1 本市における災害について
11	一問一答	福本明日香	2 新型コロナウイルス感染症について
			2 本市の不登校支援について
12	一括	仲井 玲子	1 本市における新型コロナワクチン接種後の健康被害について
			3 台風7号に係るボランティア活動について
13	一問一答	眞下 弘明	1 非常用自家発電機について
13	一括	水嶋 一明	2 舞鶴市二十歳の集いについて
			2 はしご車の更新について
14	一括	水嶋 一明	1 京都府中・北部地域の新たな消防広域連携について
			3 本市消防職員の条例定数について
15	一問一答	田畑 篤子	1 「持続可能な医療体制を考える会」開催の効果について
			2 施政方針と新たな事業の整合性について
15	一問一答	田畑 篤子	3 舞鶴市第5期地域福祉計画 (2023～2026) について
16	一問一答	南 正弘	1 不燃ごみについて
			2 中学校の自動販売機について
16	一問一答	南 正弘	3 台風の対応について
17	一問一答	山本治兵衛	1 西消防署の移転について
17	一問一答	山本治兵衛	2 災害対応について
18	一問一答	肝付 隆治	1 防災対策について

※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
 ※2 分 割…質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
 ※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問事項以外の詳細は、ホームページをご覧ください。
 ※本会議については、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページをご覧ください。

舞鶴市議会 検索



さまざまな進路先を紹介
 や定時制等、さまざま進路先を紹介
 だけでなく通信制
 だけでなく通信制
 だけでなく通信制
 だけでなく通信制

対応を問う。
 対応を問う。
 対応を問う。
 対応を問う。




学びの場を提供する
 フリースクール

質問 認定フリースクールや教育支援センターに通えない不登校の生徒は、不登校期間の学習成果が評価されないため、高校進学を選択が制限される問題がある。進学を支援するため、学校の授業を確実に自宅などで受けられるようにするとともに、学校の判断で指導要録上の「出席扱い」になるようにし、学習成果について一定の条件下で成績評価を行い、社会的自立に向けた道を開いていきたいと思います。

また、自宅で授業が受けられるように、学校と家庭を結んだオンライン授業の整備も進み、その出席や評価についても校長の判断で認めており、進学において不利にならないように配慮している。今後も社会的自立に向けた支援をさらに進めていく。

一般質問
Q 不登校児童・生徒の社会的自立支援は進学において不利にならないよう配慮
A 進学において不利にならないよう配慮
 紹介し、オープンスクールに教員と一緒に参加するなど丁寧な個別の進路相談を行っている。
 また、自宅で授業が受けられるように、学校と家庭を結んだオンライン授業の整備も進み、その出席や評価についても校長の判断で認めており、進学において不利にならないように配慮している。今後も社会的自立に向けた支援をさらに進めていく。



公明党議員団
 杉島久敏

あじまじ

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

意見書・決議

提言

定例会の予定

議会PR

令和5年9月15日、19日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

あらまし

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

意見書・決議

提言

定例会の予定

議会PR



橋に押し寄せた流木

質問 今回の台風7号の豪雨により発生した被害を検証すると、土石流、流木対策は人命、住家、農地を守っていく上で大変重要な対策である。今回の災害の状況から久田美、桑飼上地区の各河川の上流部に砂防事業、砂防ダムを設置が必要不可欠と考えるが、本市の考えを問う。

答弁 久田美川、宇谷川流域については砂防施設がなく、それにより土砂の流出範囲が拡大したことから、河

質問 今回の台風7号による被害の中で、市道に付帯する橋りょうが流木災害等により流失、損壊した。私設の橋に対する本市の支援を問う。

答弁 今回被災した私設橋は、所有者で復旧していただくことになる。被災者の生活再建に向けて市道橋も含め、復旧が不可欠である。私設橋について技術的な支援をしていく。

Q 私設橋への支援は

A 技術的な支援を行う

一般質問

Q 砂防事業の推進と砂防ダムの設置は

A 京都府から事業実施の連絡を受けた

新政クラブ議員団
今西 克己

川に砂防施設が必要と判断し、京都府に災害関連緊急砂防事業として要望した。その中で、京都府から事業を実施するとの連絡を受けた。

一般質問

Q 東地区の浸水対策は

A 完成すると浸水・高潮被害が軽減できる

自民党鶴岡クラブ議員団
谷川 眞司

質問 現在、短期工事で進められようとしている地域に、竜宮、祖母谷川右岸、市場地域があるが、排水ポンプ場が完成した場合、

質問 先日の五条、七条海岸における小型排水ポンプ車による排水作業は、東地区の浸水対策の中期計画に係る一連のものか、市の見解を問う。

答弁 高潮対策事業の手法や整備効果を検証する実証実験であり、中期計画に関するものではない。高潮対策としては、小型排水ポンプの配備と逆流防止柵の設置を予定している。

Q 排水が可能となる地域は

A 溝尻地区等を計画している



五条通の高潮被害の状況

質問 どの地域の排水が可能となるのか。

答弁 この2つのポンプが完成すると、竜宮、市場、溝尻地区および国道27号などの浸水被害や高潮被害が軽減できる計画である。

質問 河川のしゅんせつは浸水対策として有効と考えるが、府の管理河川でしゅんせつ工事の予定は。

答弁 令和5年度は、志楽川の松島橋から堀川までの区間においてしゅんせつ工事を実施すると伺っている。

一般質問

Q 小・中学校トイレは洋式化を

A 校舎改修に合わせトイレ改修を実施

日本共産党議員団
伊田 悦子



安心・安全な学校施設の整備を

質問 学校施設は教育を行う場としてだけでなく、子どもを守る役割を担っている。学校施設が地域の避難所となることから、トイレを洋式化、バリアフリー化する必要がある。現在、小学校の洋式化率は30・07%。中学校は37・19%。府内自治体と比べ遅れている。トイレ改修は、それ独自でもするべきでは。

答弁 トイレの洋式化により、子どもが家庭等で普段から使い慣れたトイレとなること

Q 特別教室にもエアコンを

A 使用頻度を踏まえ検討

質問 エアコンのない理科室や家庭科室の授業は真夏の時期を避けるが、授業に合わせ環境を整えるもの。環境に合わせて授業をするなど本末転倒。特別教室にエアコン設置を。

答弁 必要な施設整備と考えている。校舎改修のタイミングで行うことを基本にし、特別教室は、使用頻度を踏まえ、学校と協議し、整備を検討する。

令和5年9月15日、19日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

あじまじ

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

意見書・決議

提言

定例会の予定

議会PR

Q 公的病院の諸課題への市の見解は

A 看護人材の確保は医療機関と連携する

質問 本年5月から

鴨田市長により「持続可能な地域医療を考える会」が持たれ、各公的病院の諸課題の議論がされた。人材不足の中で患者情報など、病院間の情報共有が人手不足を補う上でも有効と考えるが、市の見解を問う。

答弁 各病院長からは、統合や再編など、長期的視点に立った課題解決の議論が必要との意見も多かった。看護人材の確保については、医療機関と連携し

ながら取り組んでいく。

Q 有害鳥獣被害に係る対応は

A 関係機関と連携し対応する

質問 東地区市街地

における有害鳥獣被害について、森・丸山地域で主に鹿による農作物への被害が新たに発生した。徐々にその被害範囲は拡大しているが、市として被害状況を認識され対応したかの目撃や被害の情報が寄せられており、今年度に入り、急増している。対策には捕獲、防除、環境調整が重要であり、地元自治会や関係機関と連携を図りつつ、追い払いや被害相談への丁寧な対応に取り組んでいく。



市民クラブ舞鶴議員団 廣瀬 昇

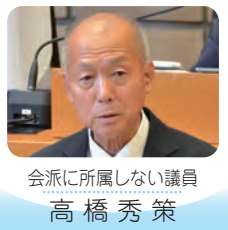
Q 複式学級解消に向けた取り組みは

A 子どもを第一に教育環境を検討する

質問 学校は、子ども

もたちの学びの場であると同時に地域の人々のよりどころでもある。統廃合は、一朝一夕にはいくものではない。人口減少が進む中、子どもたちにとって待ったなしの状況である。複式学級が編成される小規模校の解消に向けた今後の取り組みは。

答弁 小規模校の解消に向けた取り組みが、より良い教育環境につながる。今後、保護者や地域の方のご意見も伺い、子どものことを第一に考えた教育環境



会派に所属しない議員 高橋 秀策

Q 重層的支援体制整備事業の本格実施は

A 市民に寄り添った体制づくりに努める

質問 重層的支援体制整備事業は「断らない相談窓口」としての機能を果たすため、誰もが安心して相談ができ、社会とのつながりを支援する地域共生社会の実現に向けた根幹をなす事業である。その中の相談支援については、包括的相談、多機関協働、アウトリーチの各事業があるが、本年度取り組み多機関協働事業の進捗状況と課題解決に向けた今後の取り組みを問う。

また、本格実施に向けた今後の展望について、どのような取り組みを検討しているのか。

答弁 包括化推進員等が、介護、障害医療3分野の相談支援機関41カ所を巡回

訪問し、事業の概要説明や複雑化・複合化した課題共有を行い、引き続き庁内包括マネージャーと、定期的な巡回訪問を実施し、複合的な課題を抱えた世帯への対応を行い、分野を越えた連携体制の強化を進める。相談者のニーズに沿ったオーダーメイドの支援を実現し、市民に寄り添った体制づくりに努めていく。



公明党議員団 小谷 繁雄

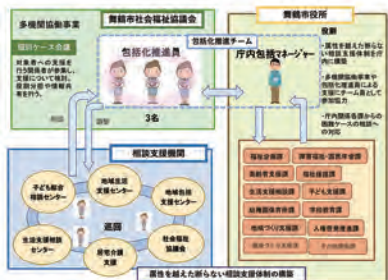


希望のある未来



中保育所・中分団車庫予定地

①今年度末に新園舎の概要を示す。
②東消防署への一時移転は来年2月中旬を見込んでいます。中分団車庫は来年12月の竣工を計画している。
③駐車場の有料化は未定である。
④設置を検討する。



本市における多機関協働事業の体制

令和5年9月15日、19日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

一般質問

Q 地籍調査の推進で土地の活用を図るべき

A 新たな手法を活用して推進する



新政クラブ議員団
野瀬 貴則

質問 土地の境界を確定させ、有効活用と流動化を促す地籍調査だが、1951年より始まり調査率は全国平均で52%まで進んでいる。しかし、京都府の地籍調査率は進捗が遅く、全国でワーストの8%であり、本市は2021年度時点で0.84%とさらに低い。今年からネット上で地番図情報の無償公開も始まっており、土地活用の促進が期待される。地籍調査事業実施計画の見直しを検討し、地籍調査の推進に力を入れるべきではないか。

答弁 市街地においては、権利関係が複雑で境界の確認に困難が伴うことや、一筆の面積が小さく測量等の費用や労力がかかり、進捗率が思うように上がらない。

しかし、土地を取り巻く社会経済情勢や測量技術の進化による調査手法等の開発、国の制度の見直し等が行われることを踏まえて計画の見直しを行い、地籍調査事業のさらなる進捗を図るとともに、効率的で利便性の高い魅力あるまちづくりを推進していく。



土地の寄附制度も境界確定が必須条件

一般質問

Q 被災ごみ収集の周知要領に改善が必要

A 正確で分かりやすい発信に努める



自民党鶴岡政クラブ議員団
川口 孝文

質問 台風7号による被災ごみの収集に関して、対応が迅速に取られたと十分に理解しているが、リサイクルプラザの休場日を知らずに、被災ごみを持って行った事例があったと聞いている。これは、周知要領が不十分であったのではないか。

答弁 必要事項を1枚に掲載するなど工夫が必要である。情報の周知要領の改善について、今後の取り組みを問う。

答弁 被災ごみ収集では、戸別収集など地域と緊密に連携を図り実施し、リサイクルプラザなどへの直接搬入の案内も行った。市ホームページへの掲載や、甚大な被害を受けた地域には、チラシを全戸配布した。被災者向けチラシ等にリサイクルプラザの休場日が未記載であったため、ご迷惑をおかけした。今後は、関係課とも連携を図り、正確で分かりやすい情報発信に努める。

必要な人に 必要なことを 分かりやすく



必要な人へ必要なことを

一般質問

Q 東舞鶴の利用者中心のワークショップを

A 利用者のニーズを踏まえ検討を進める



日本共産党議員団
小西洋 一

質問 5月に開催されたフォーラムでは、東舞鶴在住の市民から「現在の東図書館を残してほしい」との強い要望が出された。そこで、東舞鶴の利用者を中心にしたワークショップを開催し、その意向を聞いて政策化することが必要ではないか。

答弁 東地区に設置予定の分館については、中央図書館とネットワークをつないで、サービスのさらなる向上に努め、利用者のニーズも踏まえつつ、市民負担が生じないように検討を進める。

質問 農家の経営をますます厳しくし、米作りの担い手がいなくなると思われる農家へのインボイス制度の導入は中止するよう、少なくとも販売農家は、免税業者とするよう国に対して強く意見を上げるべきではないか。

答弁 インボイス制度は、消費税額を正確に把握することを目的に導入されるもので、負担軽減措置や特例などもあることから、国や京都府、JAなどと連携し、制度の周知を図っていく。



市民の声を集め、市民みんなで作る図書館に

あらまし

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

意見書・決議

提言

定例会の予定

議会PR

令和5年9月15日、19日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

あじまじ

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

意見書・決議

提言

定例会の予定

議会PR

一般質問
Q 京田川の改修工事の現状と今後の計画は
A 現在調整を図っており早期完成を目指す



指し、鋭意取り組む。

質問 今回の台風7号は、襲来前日の夜中に記録的短時間大雨情報が始めて、立て続けに発表された。加佐地区の被害は甚大だった。西市街地、京田・女布地域でも浸水が報告されたが、京田川の改修工事の現状と、今後の事業計画を問う。

災害時、ペットとの避難は別スペースでの避難は可能

答弁 京田川の改修は、通水断面が不足している城南中学校の西側について、交通安全事業に併せた改修工事を予定しており、実施に向け、関係各所と調整を図っている。京田川改修の早期完成を目



環境省発行のペット避難パンフレット表紙

台風では避難実績はない。

一般質問
Q 新型コロナワクチン接種後の健康被害は
A 救済制度の周知やサポートに努める



続の相談やサポートにより、必要な方が申請できるように努める。

質問 新型コロナワクチン接種後、体調不良を起している人がいる。厚生労働省では、健康被害救済制度を設け「厳密な医学的因果関係は必要とせず」としているが、医療機関で取り合ってもらえないとの相談がある。健康被害救済に向けた医療機関との連携を問う。

本市の不登校支援は個別最適な学びを保障する

答弁 医療機関には対応をお願いしている。今後も健康被害救済制度を記載したチラシの配布等、制度の周知を行うとともに、申請手



学校以外の多様な学びの確保を

ことが必要と考える。

一般質問
Q 非常用発電機の負荷試験の実施は
A 法定点検を毎年実施している



低限維持し、消防設備等の稼働や避難者の受け入れ機能等、必要な設備を設置している。

質問 災害時に電力供給がストップした時の対策として、非常用自家発電機等の整備が求められているが、2011年に発生した東日本大震災の際に津波で流されたものなどを除き、整備不良で作動しなかったものが全体の41%、始動後に異常停止したものが27%もあり、被害を拡大させる要因になった。

市民や利用者の安全安心を確保するため、重要な設備と認識しており、毎年、法定点検や負荷試験を含めた点検業務を委託している。災害等が発生した際、正常に機能するよう全ての非常用自家発電機において定期的な保守点検を行い、安全安心なまちづくりに努める。

答弁 不登校の時期は休養や自分を見つめ直し、自己成長させる期間である。新たな可能性を見つげるための重要な過程と捉え、児童生徒個々へ個別最適な学びを保障していくことが必要と考える。

そのため、法律で設置が義務付けられ、定期検査が求められる。避難所を含む施設での非常用自家発電機の重要性と負荷試験実施状況を問う。



定期検査が義務付けられている負荷試験

設自体の機能を最

令和5年9月15日、19日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問



火災現場での消火活動

質問 国は令和5年度から、消防職員を含む地方公務員の定年を65歳まで2年に1歳ずつ引き上げる。消防職員の業務の多くは災害現場活動で、さらに緊張を強いられる24時間の三交代勤務であることから、加齢による身体機能の低下が職務遂行に支障を来す職種である。定年引き上げが実施される中、定年引き上げ期間中だけでな

Q 定年延長制度が消防業務に与える影響は深刻な問題である



自民党鶴岡クラブ議員団
水嶋 一明

く、定年引き上げ後も含め、持続可能な消防体制を構築するため、適切な定員管理を行う必要があると考える。定年延長制度が消防業務に与える影響について、本市の見解を問う。

答弁 消防業務は災害現場対応や24時間勤務など、気力や体力がより重要な職種である。本市では条例定数を定め、新規採用は前年度退職者の欠員補充を基本としている。

今後9年間で定年退職者は2人であることから、若い職員数が激減し、60歳以上の職員が増え、最大で30人となることから、現場を基本とする消防組織にとって深刻な問題と捉えている。

質問 今回、提示された新事業「子ども食堂への支援」には、現状との矛盾点や根拠のない内容が目立つ。まず1つ目は、「子ども食堂」を始める団体へのスタートアップ事業として、調理室のある公民館貸し料金を1年間免除するもの。2つ目は、現在運営している「子ども食堂」運営団体にPR目的での出張子ども食堂として、市内公民館の貸し料金を免除するものである。

Q 新事業「子ども食堂」支援の本気度は現在、保健所と調整中である

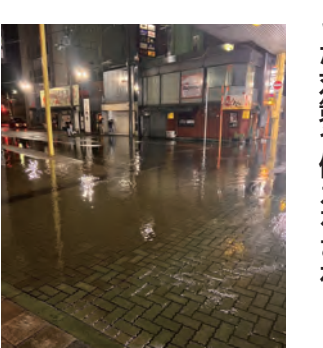


新政クラブ議員団
田畑 篤子

しかし、内容には疑問がある。そこで市の見解を問う。

答弁 「子ども食堂」は、子どもたちの居場所づくりや保護者同士のつながり、地域住民との交流など公共的な事業である。「子ども食堂」の運営に意欲がある団体の開設に対するハードルを下げるものと考え、本事業を開始した。

また、公共施設での貸し館で「子ども食堂」で食品を扱うことについても中丹東保健所と相談し、公共施設を使う制約もあるが、それに見合った形の運営になるよう調整をしているところである。



浸水したマナイ通り

質問 台風7号が8月14日の夜、本市を襲来し、22時13分に「大雨(土砂災害・浸水害)・洪水警報」が発表、同22時13分に災害警戒本部を設置し、16日14時に災害対策本部に移行された。西舞鶴市街地の浸水対策は、あまりにも対応が遅すぎたのではないか。8月9日の台風7号の進路予想では、舞鶴市も襲来予想範囲内に含まれる報道がされていたが、本市としては、どのような対策や備えをされていたのか。市の対応を問う。

Q 台風7号の市の対応は災害対策が遅れたという認識はない



自民党鶴岡クラブ議員団
南 正弘

答弁 京都地方気象台による台風7号の進路予想と影響に関する説明を踏まえ、高野川と大手川の水位を監視していたところ、急激な水位上昇を確認したため、15日の午前1時20分に大手ポンプ場の運転を開始した。今回のような急な豪雨に対しても、被害をさらに軽減できるよう初動態勢等を検証し、今後の災害対応に生かしていく。

必要な災害応急対策は、災害警戒本部体制で着実に実施しており、災害対策が遅れが生じたという認識はない。

あらまし

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

意見書・決議

提言

定例会の予定

議会PR

令和5年9月15日、19日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。質問事項は次のとおりです。

一般質問
意見書・決議

Q 台風7号の警戒態勢準備はできていたか
A 職員は自宅待機情報共有はしていた



質問 災害の対応について、議員に対して説明があった。8月14日から15日にかけての豪雨は、想定していなかったと答弁されたが、それは事実か。

答弁 14日の夜、職員は自宅待機とし急な気象変化にすぐ出動できる体制をとっていた。しかし、予測より早く大雨洪水警報に続き、記録的短時間大雨情報が発表されたことは想定ができていなかった。

Q 災害発生前に避難するための判断は避難が必要になる
A 河川の水位を検証する



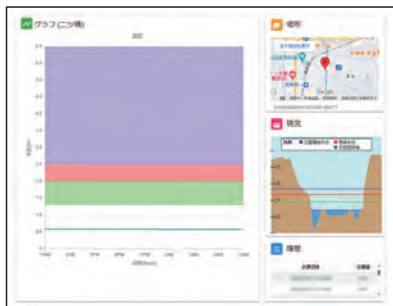
していた。明らかに初動が遅すぎた。なぜ浸水を許すまでにポンプ場を稼働させて、浸水被害の低減に努めることができなかったのか。

答弁 気象台の予測より格段に早く大雨洪水警報、記録的短時間大雨情報が発表された。高野川と大手川の水位を確認していたところ、急激な水位上昇を11時40分に確認したので、大手ポンプ場に出動し、15日午前1時20分にポンプの運転を開始した。

質問 舞鶴市は、国・府・市が管理する河川水位を市民が自分で確認することができる

「総合モニタリング情報配信システム」の開発に取り組んでいる。災害時、実際に避難の必要性を感じるためには、災害が発生した場合のリスク、災害が発生する要因とそのメカニズムを理解しておく必要がある。少なくとも自治会を代表するような方には、理解を得ておく必要があるのではないかと思うが、市の見解を問う。

答弁 避難行動をとるに当たり、河川の水位がどの程度になれば避難行動をとる必要があるのかの避難判断水位の設定が必要となる。タイムラインの作成に合わせ、各河川において、どの程度の水位に至れば避難行動が必要になるのかを地域住民と一緒に確認し、それを共有することで地域での避難行動を支援していく。また、地域における自助・共助の取り組みを強化するため、防災士の資格取得を支援する。



市のホームページで確認できる河川の水位

意見書・決議

9月定例会で議会提案し、可決した意見書・決議は次のとおりです。

令和5年台風7号に係る災害対策に関する意見書

本年8月14日から15日にかけて本市を襲った台風7号は、短時間に記録的大雨をもたらす、加佐地域や西市街地等において、家屋や農地への浸水と大量の土砂の流入、流木等による道路の寸断や橋の損壊などの甚大な被害を与え、市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼした。

被害に遭われた住民は、生活の立て直しへの不安や心労、営農意欲の喪失感を抱えながらの生活を余儀なくされており、本市においても、全力で被災地の生活再建に向けた復旧

- 作業に取り組んでいるところであるが、住み慣れた地域での安全・安心な生活の一日も早い復旧のためには、国の強力な支援が必要である。
- 国におかれては、被災者に対する支援、災害の早期復旧及び災害に強い地域づくりに向け、次の事項について必要な措置を講じられるよう、強く要望する。
- 1 台風7号災害を激甚災害として早期に指定すること
 - 2 被災した道路、河川、治山、砂防等の早期復旧に向け、財政支援等必要な措置を講じること
 - 3 農地・農業用施設の早期復旧及び二次被害防止に対する財政支援等必要な措置を講じること
 - 4 被災住民がもとの生活を一日も早く取り戻せるよう、被災者生活再建支援法等の弾力的な運用による財政措置を講じること

働いたのは、15日の午前1時20分であった。西舞鶴地区の浸水は、それよりも早く午前0時頃には浸水



西舞鶴の浸水
ポンプの起動は間に合ったか

とる必要がある

5 「防災・減災 国土強靱化のための5か年加速化対策」に関する事業が今後も安定的かつ円滑に進められるよう十分な予算を確保すること

▽建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の拡充を求める意見書

2021年5月17日、最高裁判所は建設業従事者のアスベスト被害について、国の責任と大手アスベスト建材製造企業10社の賠償を認める判決を言い渡した。同判決等を踏まえ、特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律（建設アスベスト給付金法）が成立、2022年1月から国の拠出による建設アスベスト被害者に対する給付金制度が開始された。

しかし、給付金支給対象者は限定されており、アスベスト建材製造企業による補償のあ

り方も定められていない。

また、大気汚染防止法等のアスベスト関連法の改正により規制が強化され、2022年4月から一定規模以上の

の工事は事前調査結果の報告が必須となり、2023年10月からは有資格者による事前調査が義務付けられた。

しかし、このように

規制を強化しても、それを逃れるために違法行為が行われると、国民や建設業従事者の健康被害も心配されることから、アスベストに関する監視・指導体制の強化についても、併せて求められているところである。

ついては、国において、次のとおり対策を求めめる。

1 アスベストによる健康被害者の治癒や進行抑制に効果のある治療法の研究・開発を促進し、そのための安定的な予算を確保すること

2 建設アスベスト給付金法附則第2条に基づき、アスベスト建材製造企業による補償も含め、被害者の救済制度の充実を図ること

3 アスベストに関する被害者の治癒を最優先し、隙間ない救済を図るため、被害者等の実態を把握し、適切に給付金制度の見直しを図ること

4 大気汚染防止法による建物解体などにおける飛散防止対策について、地方公共団体が監視体制及び適正処理等の指導体制を強化するための財政支援を行うこと

5 「住宅・建築物安全ストック形成事業（住宅・建築物アスベスト改修事業）」について、レベル1建材のみならず、レベル2・レベル3建材も対象にするなど、建築物の所有者等に対する調査・除去費用の補助制度を拡充すること

6 アスベスト被害を国全体の課題と捉え、国民や事業者に対し、アスベストによる健康被害、アスベスト関連法の改正の周知徹底を図ることに加え、飛散防止対策の実施状況調査を強化すること

▽舞鶴市における防衛体制の維持と防衛産業基盤の強化に関する決議

戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している我が国では、防衛力の抜本的強化等に向け、昨年12月に国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画を新たに策定されたところである。

防衛省においては、この3文書の内容を踏まえ、陸海空自衛隊の一元的な指揮を行い得る常設の統合司令部の創設をはじめ、自衛隊組織内の体制の在り方など、様々な検討を進められているものと承知している。

そのような中、本年7月に舞鶴地方総監の廃止等を含む組織の再編が検討されているとの報道を受け、本市に所在する海上自衛隊基地は、周辺諸国の軍事力が増強し、その活動が活発化している状況下において、安全保障上の日本海側の要であることから、その体制が縮小されると、我が国の防衛力に大きく影響するのではないかと強く懸念している。

また、本市は、海軍鎮守府の開庁以降、海上自衛隊舞鶴地方隊の創設を経て、基地とともに発展を遂げてきた歴史を有しており、基地所在自治体として、国防という重要な役割を担う自衛隊施設が安定的に運用されるよう、市民の理解を得るために最大限の努力を行いながら、基地との共存のまちづくりを推進し、地域経済の振興へとつなげてきた。そうした長い歴史がある中

で、既存の体制縮小もなれば、本市にとって、地域活力の著しい低下につながるものと憂慮している。

加えて、国においては、本年6月に「防衛省が調達する装備品等の開発及び生産のための基盤の強化に関する法律」を公布されるなど、防衛産業の基盤強化に向けた取組が進められているところであり、本市に所在する海上自衛隊との結びつきの強い、自衛隊艦船の建造、修理、維持機能を含む防衛産業への支援に引き続き取り組んでいただくことも重要であると考える。

よって、国に対し、舞鶴地方総監及び舞鶴地方隊の現状維持、並びに本市配置部隊の体制拡充及び国内防衛産業基盤の強化に係る取組を一層促進されるよう要望する。

以上、決議する。

あらまし

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

意見書・決議

提言

定例会の予定

議会PR

市長へ政策提言書を提出

委員任期の初めに、各常任委員会において、1年間の重点事項を選定し、それに沿って、本市の状況の把握や他市の事例の調査、「市民と議会のわがまちトーク」における市民の皆さまとの意見交換などを経て議論した結果として、市に対する提言を取りまとめ、市長に提出しました。

この提言を踏まえて、今後の施策が展開されることを期待します。



市長に直接手渡しして説明

総務消防委員会

移住者が移住者を呼ぶ好循環づくり

- ターゲットを絞った移住促進施策の充実
- 人と人とのつながりを重視した案内等の実施

産業建設委員会

若者の地元就職を図る取組

- 企業の採用力向上につながる施策の推進
- 地元就職・U I J ターン就職促進に係る取組の充実

福祉健康委員会

健康寿命の延伸に向けた取組強化

- オール舞鶴で「知らず知らず健康になるまち」を目指す取組
- 働き盛り世代等をターゲットにした生活習慣病の発症予防、重症化予防の取組

市民文教委員会

地域で活動するスポーツ団体と学校部活動との連携

- 部活動地域移行推進計画の策定と周知
- 練習場所や大会への移動手手段の確保、送迎の支援

12月定例会予定

11月 ※予定は変更することがあります。

28日(火) 本会議(開会・提案説明)

12月

5日(火) 請願受理締切

8日(金) 本会議(一般質問)

11日(月) 本会議(一般質問)

12日(火) 本会議(一般質問、議案質疑)

14日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会

15日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会

20日(水) 予算決算委員会

26日(火) 本会議(委員長報告・質疑・討論・採決・閉会)



【議会報編集部会】

部会長 肝付 隆治
副部会長 田畑 篤子
委員 伊田 悦子
委員 杉島 久敏
委員 福本明日香
委員 水嶋 一明

(副部会長 田畑 篤子)

私たちが、編集部会委員は、舞鶴市議会の活動を、市民の皆さまにこの議会だよりを通じてご理解いただき、関心事として受け止めていただきたく紙面構成に工夫してまいりました。市民の皆さまのご感想を参考に、今後も編集部会においてさらに検討を重ね、編集に生かしてまいります。

本市は、コロナ禍や物価高騰による不安定な市民の暮らしに対して、少しでも早い支援を、常に国や京都府と連携して取り組んでまいりました。

編集後記

「まいづる市議会だより」をご愛読いただき誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、人のにぎわいも戻りつつあります。地域の行事や各式典も復活してまいりました。家族や友人との旅や集会で人々に笑顔が戻ってきました。誰でも人は、人と人とのつながりの中で生きていることが、どんなに幸せなことかを改めて実感しました。手がつなげる、向かい合える、抱きしめ合える、そんな、当たり前の暮らしの大切さを身に染みて感じました。